

申請書記入例

(様式第1号)

認定番号は記入しなくて結構です。(市側で使用します)

認定番号

旭川市ごみ減量等推進優良事業所認定申請書

申請書を提出する日付を記入してください。

令和 **6** 年 **0** 月 **0** 日

(宛先) 旭川市長

認定を申請する者の所在地・名称(事業所名, 会社名, 団体名等)および代表者名

(〒 **070 - 0036**)

旭川市7条通9丁目

旭川市株式会社 中央支店

支店長 旭川 太郎

申請する単位(会社, 支店)名と, その単位の代表者名を記入してください。複数の事業所(建物)がある場合は, 申請書5ページに記入してください。

(電話 **12 - 3456**)

※複数事業所がある場合, 5ページに記入してください。

担当者名

上川 次郎

担当者部署名

総務課

担当者所在地 (〒 **070 - 0036**)

旭川市7条通9丁目

(連絡先電話 **12 - 7890**)

連絡先Eメールアドレス **12345@AAAA.BBBB.co.jp**

この申請の担当者名, 連絡先等を記入してください。直接の連絡は, こちらの連絡先にさせていただきます。

旭川市ごみ減量等推進優良事業所認定実施要綱に基づき, 旭川市ごみ減量等推進優良事業所認定に次のとおり申請します。

◆申請ランク(いずれかに○印をつけてください。)

ブロンズ☆<新規> (Ⅶ以降の記入不要です。)

ブロンズ☆<継続> (Ⅶ以降の記入不要です。)

シルバー☆☆・ゴールド☆☆☆<新規> (最後まで記入)

シルバー☆☆・ゴールド☆☆☆<継続> (最後まで記入してください。)

申請するランク(ブロンズまたはシルバー以上)の新規または継続に○をつけてください。

シルバー以上に申請するには, 申請書を最後まで記入いただく必要があります。認定基準については, チラシ等をご覧ください。

I 分別の状況(対象は一般廃棄物のみとなります。分別品目に無い場合は空欄に記入してください。)

<input type="radio"/> 空き缶	<input type="radio"/> ペットボトル	<input type="radio"/> プラスチック製容器包装
<input type="radio"/> 燃やせるごみ	<input type="radio"/> 燃やせないごみ	<input type="radio"/> 段ボール
<input type="radio"/> 新聞・チラシ	<input type="radio"/> コピー用紙	<input type="radio"/> 雑誌・カタシ
<input type="radio"/> 紙パック	<input type="radio"/> その他資源化可能な古紙	<input type="radio"/> 生ごみ
<input type="radio"/> 割り箸		

実際に手元で分別している分別区分を記入してください。(一般廃棄物のみが対象です。)ここにある以上に分別している場合は, 空欄に記入してください。

II 保管・収集運搬状況(複数事業所がある場合, 5ページに記入してください。)

一般廃棄物等収集運搬業者名	保管場所の形態(○をつけてください)
旭川あさびー清掃会社	・屋内 <input checked="" type="radio"/> ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他()

収集運搬を担当している業者名を記入してください。

該当する保管場所(ごみの集積場所)の形態に○をつけてください。該当しない場合は「その他」に記入してください。

「発生・排出抑制（リデュース）」とは、まずは「ごみにしない」工夫、「ごみを出さない」工夫を指します。実際にやっている項目（実施項目）の番号と取組内容に○をつけてください。どの実施項目にも当てはまらない場合は、3ページ「VI「特徴的な取組」」に記入してください。

Ⅲ 環境行動取組

（取組内容の該当するものに○をつけてください。記載項目以外で取り組んでいる場合は次のページに記入してください。）

1. 発生・排出抑制（リデュース）

ごみ減量・分別・リサイクルや、関連する取組について、実際にやっている項目（実施項目）の番号と取組内容に○をつけてください。

<input type="radio"/>	・事業所内の消耗品は詰め替え品を利用している。（事務用品、洗剤、シャンプー、調味料など）
<input type="radio"/>	・来客者等に使い捨て用品の提供を控えている。（紙製おしぼり、割り箸、紙コップ、紙ナプキンなど）
<input type="radio"/>	・従業員の会議資料、資料の個
<input type="radio"/>	・生ごみは
<input type="radio"/>	・無駄な生ごみを出さない（小盛りメニュー、嗜好調査、加工済食材の使用など）
<input type="radio"/>	・在庫を抱えない（見切り販売や売り切り、従業員等の提供などを実施している）
実施項目数	5 項目 ※認定は取組内容の数により行います。

実施項目の数を記入してください。実施項目の数によって、認定されます。認定の詳細は、認定基準をご覧ください。記載されている以外の取り組みについては3ページの特徴的な取組欄に記入してください。

2. 再使用（リユース）

「再使用（リユース）」とは、壊れたり不要になったものを廃棄せずに、誰かに譲るなどして再び使用することです。

<input type="radio"/>	・消耗品などはできる限り再使用している。（ファイル、封筒、紙袋、紙糊、段ボール、ハンガーなど）
<input type="radio"/>	・不要となった備品類は捨てずに他の部署と融通している。（一元管理している備品庫、リユースコーナー、掲示板など）
<input type="radio"/>	・商品納入時に通い箱などを使用している。
実施項目数	2 項目 ※認定は取組内容の数により行います。

3. 分別・再生活用（リサイクル）

「再生活用（リサイクル）」とは、不要になったものを再び資源としてよみがえらせることです。

具体的には事業系分別区分にあるものをきちんとすることで、既存のリサイクルルートに乗せる。また、分別区分にあるもの以外の品目についてリサイクルできる方法を考え、生ごみの堆肥化など自らリサイクルする方法もあります。

<input type="radio"/>	・古紙類、びん、缶、ペットボトル、食品トレイ
<input type="radio"/>	・プリンターインクやトナー
<input type="radio"/>	・生ごみをリサイクルしている。
実施項目数	3 項目 ※認定は取組内容の数により行います。

4. 資源循環に関する取組

	取組内容
<input type="radio"/>	・消耗品などを購入する際は、環境ラベルが貼られたグリーン購入法適合品を優先的に調達している。
<input type="radio"/>	・再生品や詰め替え品を製造・販売している。
実施項目数	1 項目 ※認定は取組内容の数により行います。

「資源循環」では、ごみの分別だけではなく、廃棄され、資源となったものを原料とした製品の活用状況を記入してください。再生品を積極的に利用・提供することで、資源の循環を進めることができます。

5. 顧客や取引業者に対する取組

	取組内容
<input type="radio"/>	・製造、販売している製品はごみとして捨てられなくなるように配慮している。
<input type="radio"/>	・びん、缶、ペットボトル、食品トレイ、簡易包装を行っている。又は包装を電子メールや発注伝票を電子メールで送付している。
<input type="radio"/>	・ダイレクトメールや発注伝票を電子メールで送付している。
実施項目数	1 項目 ※認定は取組内容の数により行います。

「顧客や取引業者に対する取組」では、自らが出すごみだけでなく、関係者に対するごみとなるものの提供を控える等の取組を記入してください。製造・販売者が消費者に対して行う取組以外でも関係者や支店同士のやりとりなどの中で発生するごみを減らす工夫が求められています。

6. 事業所内でのごみ減量化や環境美化に向けた取組

	取組内容
<input type="radio"/>	・廃棄物の保管場所は分別ごとに適切に管理されている。
<input type="radio"/>	・廃棄物や資源物の発生量や資源物の回収率を把握している。
<input type="radio"/>	・ごみ減量や分別に関する責任者を明確にしている。
<input type="radio"/>	・必要以上の備品や消耗品を抱え込まないよう計画的に調達している。
<input type="radio"/>	・組織として目標を立て、継続的にごみ減量や環境美化に取り組んでいる。
<input type="radio"/>	・従業員などに対して、定期的な環境教育を行っている。
<input type="radio"/>	・自社内で備品などの修理を行っている。
<input type="radio"/>	・ホームページなどで環境美化の取組を公表している。
<input type="radio"/>	・定期的に地域清掃を実施している。
実施項目数	5 項目 ※認定は取組内容の数により行います。

「事業所内でのごみ減量化や環境美化に向けた取組」では、ごみ減量化や環境全般に係る取組を記入してください。ごみを減らす取組は、一時だけ達成すれば終わりということではありません。組織的な活動や、地道な啓発で職員や関係者の意識を変えていくことによって、取組の継続がしやすくなります。

IV 各種施策への協力状況（当てはまるものに○をつけてください。）

内 容	
<input type="checkbox"/>	①廃棄物処理法及び本市条例規則並びにその他の生活環境の保全を目的とする法令に違反していない。
<input type="checkbox"/>	②多量排出事業者の場合、別途、「事業系一般廃棄物減量化等計画書」を提出している。
<input type="checkbox"/>	③その他、市が行う施策に協力 （内容： 各種施策に協力しているものがあれば、該当するものに○をつけてください。「事業系一般廃棄物減量化等計画書」を提出している場合は②に○をつけてください。

V 認証・登録または認定状況（既に認証・登録等を受けているものに○をつけ、登録者名と登録年を記入してください。）

名 称	登録・認定者名	登録・認定年
あさひかわエコショップ		
ISO14001		
エコアクション21		
HES北海道環境マネジメントシステムスタンダード		

認証・登録、または認定を受けているものがあれば、該当するものに○をつけたうえで、登録または認定者名を記入してください。

VI 特徴的な取組（前のページに記載している以外に取り組んでいる内容や、特徴的だと思われる取組がありましたら、記入してください。）

1. 取組内容

取 組 内 容
<p>2ページの環境行動取組状況に記載されている以外で行っている取組や、工夫している点など、アピールできる取組を自由に記入してください。ゴールド認定の審査にあたっては、この部分が特に評価されると考えられます。</p>

2. 重点的取組に関する添付資料（取組内容がわかる資料があれば○印を記入し、添付してください。）

<input type="checkbox"/>	分別区分表	その他（ ）
<input type="checkbox"/>	ごみ排出実績に関するデータ（一般廃棄物）	その他（ ）
<input type="checkbox"/>	ごみ排出実績に関するデータ（産業廃棄物）	その他（ ）
<input type="checkbox"/>	写真	（ ）

※ブロンズ☆に申請する方は、ここまで

重点的に行っている取組や、工夫している点など、アピールできる取組に関する資料があれば、該当するものに○をつけたうえで、資料を添付してください。

ごみの量を記入してください。対象は一般廃棄物のみです。
(廃プラ、金属、ガラスくず等は産業廃棄物です。)

発生量 = 資源化量 + 処分量 です。
(ごみとして出た量) = (資源化施設に運ばれた量) + (埋立・焼却施設に運ばれた量)

収集運搬業者ではなく、各ごみがどこに持ち込まれているかを記入してください。自分で運んでいない場合は、収集運搬業者に確認して記入してください

1. 前年度の事業系一般廃棄物排出実績 **資源化率 = 資源化量 / 発生量 × 100 (%)**

令和5年度 (R5.4.1~R6.3.31)		発生量 トン/年	資源化量 トン/年	処分量 トン/年	資源化率 %	処分先
空き缶		0.8	0.8	0	100.0%	●▲金属
ペットボトル		0.5	0.5	0	100.0%	旭川ペットボトル中間処理センター
古紙類	新聞・コピー用紙	2.7	2.5	0.2	92.6%	} ◆◆古紙回収会社
	雑誌・カタログ・パンフレット	1.2	1.2	0	100.0%	
	紙バック	0.2	0.2	0	100.0%	
	段ボール	5.7	5.7	0	100.0%	
	その他古紙	0.6	0.6	0	100.0%	
プラスチック製容器包装		0.1	0.1	0	100.0%	REPLAファクトリー
生ごみ*		7.9	5.5	2.4	69.6%	▼■生ごみ堆肥化センター
燃やせるごみ		0.5	0	0.5	0.0%	旭川市近文清掃工場
燃やせないごみ		0.2	0	0.2	0.0%	旭川市廃棄物処分場
合計		20.4トン	17.1トン	3.3トン	83.8%	
対前年度増減率 (%)		-1.9%	2.4%	-19.5%		

※数字は小数点以下第1位まで記入してください。
 ※分別に取り組んでいる品目別に量を記入してください。分別に取り組んでいない品目には記入する必要がありません。
 ※上記の他、分別に取り組んでいるものがあれば、空欄に記入してください。
 ※生ごみについては、食品リサイクル法に定める食品関連事業者の方は必ず記入してください(産業廃棄物分を除く)。
 ※発生量が少ない事業者の方は、単位をkgに訂正して記入してください。

2. 過年度実績(2年前及び3年前の各年) **2年前及び3年前の実績を記入してください。記入方法は上と同じです。**

令和4年度 (R4.4.1~R5.3.31)	発生量 トン/年	資源化量 トン/年	処分量 トン/年	資源化率 %
合計	20.8トン	16.7トン	4.1トン	80.3%

令和3年度 (R3.4.1~R4.3.31)	発生量 トン/年	資源化量 トン/年	処分量 トン/年	資源化率 %
合計	21.0トン	16.6トン	4.4トン	79.0%

※数字は小数点以下第1位まで記入してください。
 ※品目毎ではなく、合計の数値のみ記入してください。
 ※発生量が少ない事業者の方は、単位をkgに訂正して記入してください。

3. ごみ排出量・資源化率について特記事項があれば記入してください。

ごみ排出量や資源化率の変化について、また、事業系一般廃棄物を産業廃棄物で処理しているなどの説明があれば、この欄に記入してください。

※事業系一般廃棄物を産業廃棄物で処理している場合などの情報も記入してください。

◆ホームページがある方は、URLを記入してください。

URL (アドレス)	管理者名	管理者の連絡先
http://		

認定後に、市HPにリンクを設置します。
リンクを希望するページのURLと管理者名を記入してください。

事業者単位での申請。団体単位での申請などで、対象に複数の事業所（建物）がある場合、記入してください。
別紙を添付していただいても結構です。

	事業所 住 所	保管場所の形態（○をつけてください）	担当者名 電話番号
1	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
2	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
3	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
4	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
5	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
6	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
7	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
8	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
9	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
10	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
11	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
12	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
13	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
14	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
15	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
16	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
17	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—
18	旭川市	・屋内 ・ガレージ ・屋外かご ・屋外密閉容器 ・その他（ ）	—